

2024年2月1日

各 位

東京都港区港南四丁目1番8号
会社名 アドソル日進株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 上田 富三
コード番号 3837 東証プライム市場
問合せ責任者 取締役管理本部長 寺村 知万
(TEL 03-5796-3131)

生成 AI「AdsolChat」社内運用開始のお知らせ

アドソル日進株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼 CEO 上田富三、以下：アドソル日進）は、注目を集める生成 AI（人工知能）を社内で活用するため、生成 AI「AdsolChat（アドソルチャット）」サービスを構築し、2023 年 12 月より全社運用を開始しましたので、お知らせします。

記

1. 背景

ChatGPT の登場から 1 年あまり、生成 AI（人工知能）は、急激な発展を遂げており、業務への適用、活用推進のありかたは、今後の企業の発展にも大きく影響を与えようとしています。

一方、インターネット上で提供されている様々な生成 AI は、入力したデータが学習されてしまうことから、外部への情報流出リスクに直結するため、業務利用できないケースが数多くあります。

当社は、このような生成 AI を利用する上でのリスクを排除し、安心・安全に業務で活用できるよう、社内専用の「AdsolChat」サービスを構築し、全社運用を開始しました。

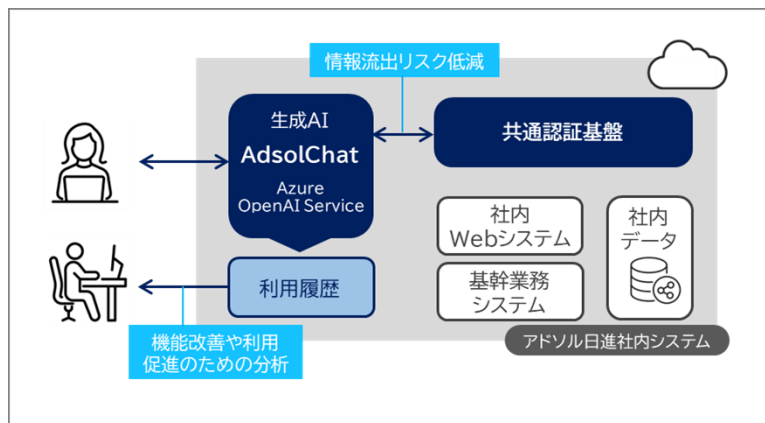
2. 特徴

「AdsolChat」では、「Azure OpenAI Service」を使用して、社内システム上に生成 AI サービスを構築し、ユーザーのログイン認証の仕組みには、社内システムの共通認証基盤を活用しています。

これにより、利用者は社員に限定され、ChatGPT 無料版（GPT3.5）とほぼ同等のサービスを外部流出のリスクなく利用可能になりました。

社内文書の要約や、プログラミング関連の問い合わせなど、生成 AI によって大幅な効率化が期待できる業務を「AdsolChat」の安心・安全な環境で実現し、デジタル化・DX による業務効率化・生産性向上を図ってまいります。

また、業務効率化につながった活用事例を把握、分析を進めることなどにより、さらなる機能改善や利用促進に向けた活動にも取り組んでまいります。



3. 今後の展望

当社は2023年5月から「生成 AI ワーキンググループ」を全社横断的に立ち上げ、約50名の社員が生成 AI を使ったサービスの企画・開発やガイドラインの整備、ユースケースの開拓などに取り組んでいます（事務局：AI 研究所、デジタル・テクノロジー事業部）。

今後は、「AdsolChat」を活用したさらなる業務効率化に向け、ハルシネーション（幻覚）軽減にも有効な、社内データを含めた回答が可能になる仕組みを追加するなど、独自のチューニングや検証を実施していく予定です。

また、「AdsolChat」で培った知見を活かし、顧客企業が独自の生成 AI サービスを導入する際のコンサルティングや構築支援に向けた準備も進めてまいります。

※1) ハルシネーション（幻覚）

人工知能（AI）が事実に基づかない情報を生成する現象のこと。

まるで AI が幻覚（＝ハルシネーション）を見ているかのように、もっともらしい嘘（事実とは異なる内容）を出力するため、このように呼ばれています。

（ご参考）

1) AI（人工知能）への取り組み

<https://adniss.jp/products/products-detailed/ai.html>

（関連ニュース）

2023年10月13日「第2回 AI 品質マネジメントシンポジウム（主催：産総研）」にて講演

<https://adniss.jp/news/2023/10/aiqm-symposium-2023.html>

2023年03月22日「AIリテラシー研修」を実施しました

<https://adniss.jp/news/2023/03/ai-literacy.html>

2021年04月08日「AIシステム：品質評価プラットフォーム（テストベッドα版）」開発に参画

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3837/tdnet/1951951/00.pdf>

2020年10月29日 AIの品質ガイドライン 策定活動に参画

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3837/tdnet/1893842/00.pdf>

以上

報道関係者 お問い合わせ先：

アドソル日進株式会社 経営企画室 広報・IR 担当

TEL（代表）：03-5796-3131 e-mail：ir@adniss.jp